



ことばがおかしい・・・

存立危機事態

戦争法案の一つのポイントは、日本が攻撃を受けていなくても他国が攻撃を受けて、政府が「存立危機事態」と判断すれば武力行使を可能にすること。

「自衛の為」を掲げて戦前の戦争も行われた。それを繰り返さない為に「国際紛争の解決の手段として戦争はしない」と憲法九条に定めた。本当に攻撃されたら自衛は出来る。

存立危機事態だと云って武力行使、つまり外国を攻撃したら、戦前と同じになる。

利己的？

「自由と民主主義のための学生緊急行動」(SEALDs)に対し、自民党の武藤貴也衆院議員は「彼ら彼女らの主張は『だって戦

争に行きたくないじゃん』という自分中心、極端な利己的考え」と非難。米国は「大量破壊兵器がある」と嘘を言って青年をイラク攻撃に動員。そんな不正義な戦争に誰もが行きたくないのは当たり前。それが利己的？じや誰の為に戦争に？米国の為？正直！！

誤解を与えた

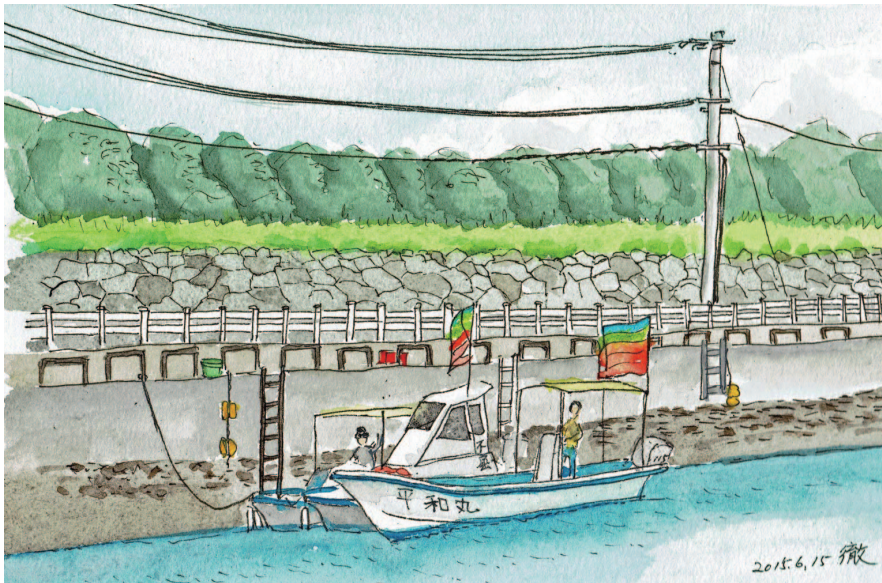
磯崎補佐官は「法的安定性は関係ない」と発言。それを「誤解を与えた」と発言を撤回。

「誤解」と云うのは話を聞いた人が誤った解釈をすること。磯崎氏は安倍首相の思いを正直に述べてしまっただけ。聞いた人は誰も誤解していない。

安倍政権の言葉がおかしい。みなさんはどう思われますか？

平和丸

沖縄県名護市汀間^{ていま}
二〇一五年六月



キャンプシユワブと大浦湾を隔てて北東側に汀間漁港がある。そこに「へり基地反対協議会」の抗議船「平和丸」や「不屈」が帰着したところだ。今は干潮で海面が低い。満潮になると岸壁ぎりぎりまで海面が上がる。

平和丸は総トン数一トン程度。漁師が使うヤマハの「和船」の一種だ。

奥の「不屈」はスマー卜で操舵室がある。雨の時には助かるが夏には暑い。

掲げている旗は「平和」一九六〇年代にイタリアで考案され、二〇〇三年のイラク戦争の頃からよく使われるようになった。上側から紫、青、空色、緑、黄、赤、生協の旗も似ているが色の順番が逆。旗には各国語で平和を示す言葉が染め抜かれている。